



生後1歳に接種するワクチン

1歳のお誕生日をむかえたお子さんに大切なワクチンについて解説します

1歳のお誕生日おめでとうございます。

お誕生日にあわせてお子さんのワクチンについて確認しましょう。

まずは下のチェックリストでこれまでに受けたワクチンを確認し、接種忘れがないか確認しましょう。



● 1歳になるまでに受けたワクチンを確認しましょう

ワクチンの種類	1回目	2回目	3回目	チェックボックスに空欄がある場合
小児用肺炎球菌	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	接種が必要な可能性が高いです。かかりつけの医師に相談してください。
B型肝炎	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
五種混合 (または四種混合・ヒブ)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
BCG	<input type="checkbox"/>			
インフルエンザ	(<input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/>)		生後6か月から接種可能です。これからも毎年10月～11月に受けてください。

(各ワクチンの詳しい内容については、それぞれの「ワクチンで予防できる病気について」を参照してください)

※ロタウイルスワクチンは2～3回のワクチンを生後24週か32週までに接種します。1歳以降に接種することはありません。

● 1歳時に受けるワクチン

ワクチンの種類	12か月	18か月～23か月	注意点
肺炎球菌	<input type="checkbox"/>		前回の接種から一定の間隔をあける必要があります。かかりつけの医師に相談しましょう。
五種混合 (または四種混合・ヒブ)	<input type="checkbox"/>		
麻疹風疹混合(MR)	<input type="checkbox"/>		1歳になったら直ちに受けましょう。水痘は2回接種します。
水痘	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
おたふくかぜ	<input type="checkbox"/>		
インフルエンザ	<input type="checkbox"/>		10月末から11月にかけて早めに接種しましょう。1～4週あけて2回接種しましょう。



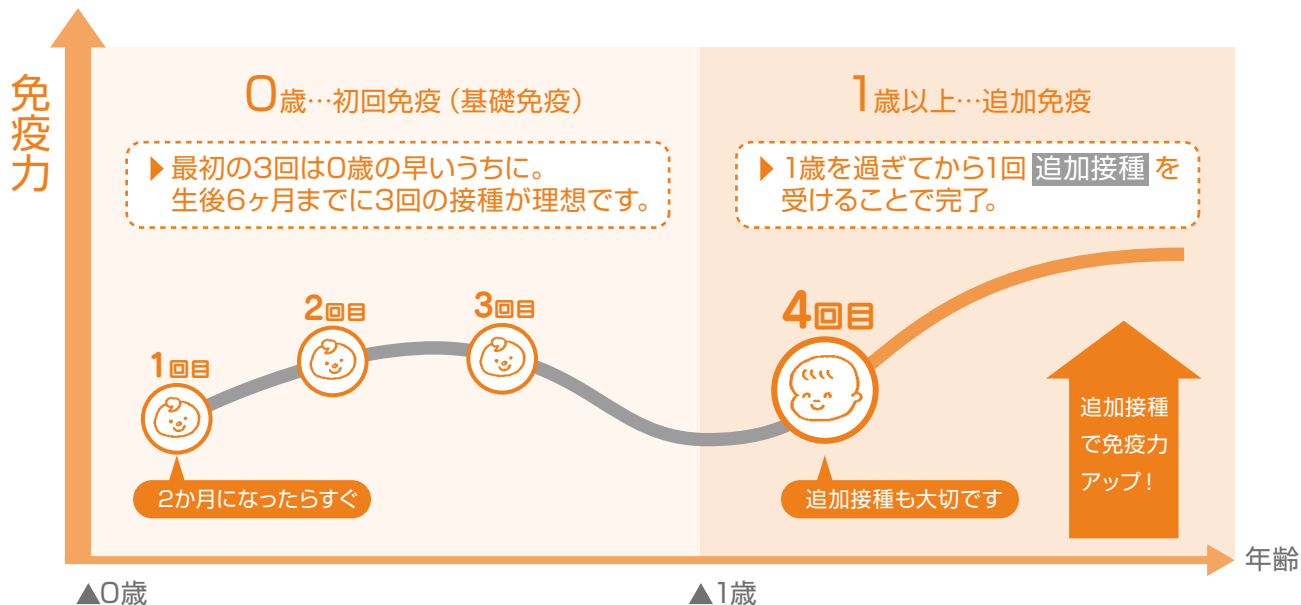
1歳でワクチンを接種する2つの理由

① 1つ目の理由は、これまで受けてきたワクチンで得られた免疫を高める必要があるからです。このような目的でワクチンを接種することを **追加接種** といいます。

1歳までに受けてきたワクチンによって体の中に

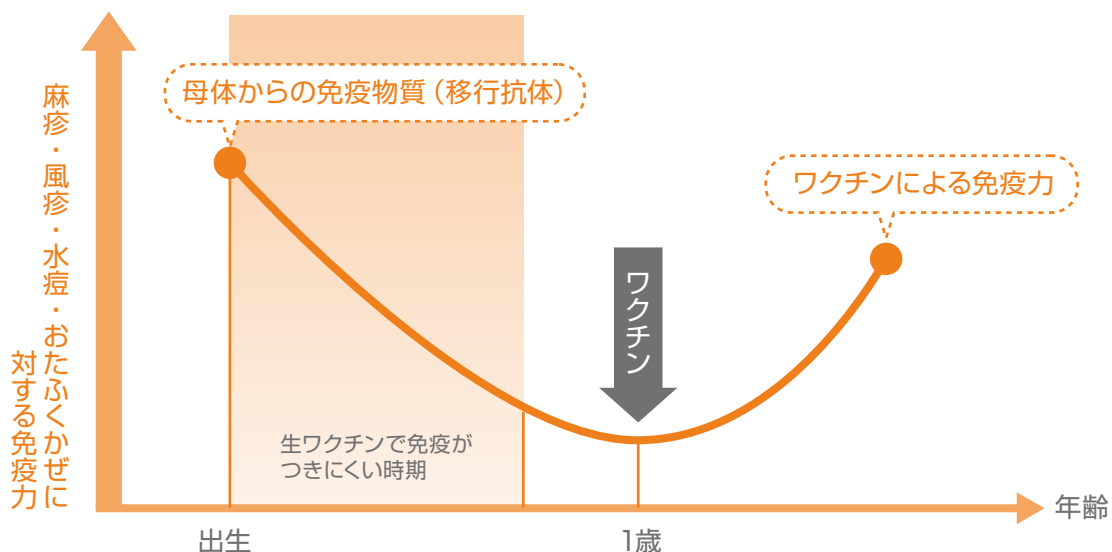
免疫が出来ますが、追加接種をすることでより強く長持ちする免疫をつけることができます。

具体的には、肺炎球菌ワクチン、五種混合ワクチンなどです。



② 2つ目の理由は、生ワクチンを受けるのに1歳という年齢がちょうど良い時期だからです。生ワクチンは、病気を起こすウイルスを弱くして、病気を起こさずに免疫だけをつけるように作られたワクチンです。麻疹・風疹混合 (MR) ワクチン、水痘ワクチン、おたふくかぜワクチンがあります。1歳になるまでは、お母さんからもらった抗体という免疫物質でウイルス

からお子さんは守られていました。また、抗体がある時期は生ワクチンの効果が弱くなることも知られているため、1歳になるまでは、これらの生ワクチンは通常接種しないのです。1歳になるとその抗体もほぼなくなるので、出来るだけ早くワクチンを受ける必要があります。



注意事項：免疫の弱い方は生ワクチンが接種できない可能性があります。基礎疾患がある場合はかかりつけ医にご相談ください。

